

# ビブリア



## ビブリア

発行日

2012年7月1日

### 目次

巻頭言

図書館館長 2

新任の先生おすすめの  
本 3

便利な図書館アイテム 11

本ができるまで 12

図書館アルバイト生の紹介  
17

空想科学図書館通信 18

ランキング 19

Library Information 21

編集後記 22

天体の  
神秘が魅せる  
和と輪かな



## 図書館、そして本との触れ合い

図書館長 伊藤正義

今年度も図書館を担当することになりました。よろしくお願いいたします。

大震災も1年が経過し、図書館に避難されていた皆様が去り、また図書館の修復も済み、開館時間も震災以前に戻りました。“いつものように”であることがとてもありがたく思われます。今回は2点ほど申しあげることになります。

(1) 本校の図書館に親しんでください。2階の閲覧室は試験期間中を除くといつも空いております。勉強に、読書に、落ち着いた空間が得られます。平日は夜8時まで、土曜日は午後4時まで開館しているので、特に近くにいる寮生には快適な場所となるのではないのでしょうか。“I-TOSS”システムを利用すれば本校で閲覧できる図書の数に格段に増え、また毎年企画している“ブックハンティング”に参加すれば好きな本を図書館で購入してもらうこともできます。図書館の充実したホームページ、掲示版、また毎年2回発行している“ビブリア”は是非一読くださるようお願いいたします。職員が努力し、工夫して作成しているものです。とても身近なところに貴方の図書館はあるのです。

(2) 心に<sup>と</sup>滲みる青春の1冊を見つけてください。40年以上も過去の話になりますが、私の頃は世界文学全集の時代で、当時傾倒した本や作家は、その記憶が消えることなくいつでも甦<sup>よみがえ</sup>ってきます。若い感覚で読める本も最近は数多く出版されているように思います。特定の作家を追いかけるのもいかがでしょうか。これから長い夏休みになります。恵まれた自然環境の中で貴方の1冊をつくってください。



# 新任の先生

## おすすめの本

今年度本校に赴任された先生方に、学生のみなさんにおすすめの本をご紹介します。  
いただきました。



### 建設環境工学科 林久資先生のおすすめの本

「動く大地」の鉄道トンネル  
峯崎淳著 交通新聞社

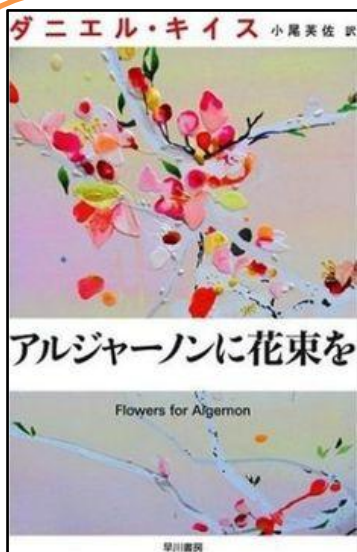
みなさんは、1年間に何本のトンネルを通過するでしょう。道路、高速道路、鉄道、新幹線、地下鉄など、おそらく数えきれない本数のトンネルを通過しているのではないのでしょうか。

それもそのはず、我が国は国土の7～8割が山地であるため、道路や鉄道を建設するには、どうしてもトンネル区間が多くなります。また、わずかな平地に人が住む訳ですから、地下鉄を

掘り、土地の有効利用を図る必要があります。そのため、日本は比較的トンネルの多い国なのです。

トンネルの中には、工事が大変難しく多くの犠牲者を出したものもあります。私がおすすめる『「動く大地」の鉄道トンネル』という本は、我が国の数多くのトンネルの中でも歴史に残るほどの難工事となった、「丹那トンネル」と「鍋立山トンネル」の技術者の苦闘をクローズアップしたものです。

この本では、山岳トンネルの構築方法や、現在と昔のトンネル施工法の違いなどについてトンネルを専門としない方にも分かりやすく書かれています。みなさんが普段通るような完成後のトンネルからは知り得ないことを知ることができ、大変興味深い内容となっています。また、トンネルの崩落や大量湧水など、大きな困難に見舞われても決して逃げ出さず、正面から問題と向き合い、世のため、人のために尽力を尽くす技術者の強い意気込み、技術者精神を学ぶことができます。専門的な知識は学校の講義で学ぶことができますが、技術者精神は学校の授業等ではなかなか学ぶことが出来ません。技術者を目指す方には是非読んでいただきたい一冊です。



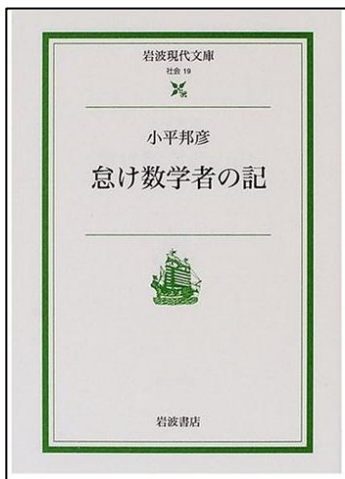
一般教科 新井真人先生のおすすめの本

アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス著 早川書房

32歳になっても幼児の知能しかない主人公のチャーリー・ゴードン。そんな彼に大学の先生から頭がよくすることができる、人並み以上に優れた知能になることができると話を持ちかけられます。彼はその話に飛びつきみるみるうちに頭がよくなります。これまで分からなかったものが分かるようになり、天才と呼ばれるまでになります。また、勉強だけでなく恋愛などの人生における楽しみも体験することもできるようになりました。そんな時、彼と同じく頭がよくなった試験体のマウスに異変が見られるようになります。それは彼に訪れる未来を示唆しているものでした。

ストーリーに引き込まれることはもちろんのこと、彼の知的レベルが上がっていく様子が文章の中で非常に上手く表現されています。私が大学生の時に生協の店員さんに薦められて読んだのですが、当時は非常に大きな衝撃を受けました。これ以上多くは書きませんが是非とも読んでもらいたい一冊です。



一般教科 飯田毅士先生のおすすめの本

怠け数学者の記

小平邦彦著 岩波書店

一流の数学者小平邦彦氏が執筆したエッセイで、大きく3つの内容で構成されている本であり、著者の数学観、教育観などが読み取れる。特に数学における感覚「数覚」について述べており、大変興味深い。

また、この本は大変読みやすく専門的な知識を特に必要としないので、ぜひ読んでみてほしい。



## 一般教科 市川誠先生のおすすめの本

### 論文捏造

村松秀著 中央公論新社

福島高専の学習・教育目標の第一項に掲げられているように、知的誠実さ (intellectual honesty) に代表される科学倫理を持つことは、理系、文系を問わず、学問に従事する上で重要である。その重要性にもかかわらず、残念なことに、科学界ではデータを意図的に捏造する不正事件がまれに起こる。

ここで取り上げる『論文捏造』(村松秀著)は、アメリカのベル研究所を舞台とした科学論文捏造事件の経緯を描いたものである。4年前、私は大学の非常勤講師としての月収が8万円しかなく、奨学金を原資とした貯金を取り崩しながらの極貧生活を送っていた。その時、光熱費を節約するために、近所にある大学の図書館に通っていた。その図書館の文庫本コーナーを何気なく歩いていたら、目に留まったのがこの本である。あらすじは、次の通りである。

ドイツ南部出身のヘンドリック・シェーンは、博士号を取得後、アメリカのベル研究所に研究員として採用された。その後、超伝導に関する画期的な論文を量産し、一躍、ノーベル賞受賞を目される物理学会のスーパースターとなる。しかし、一連の論文が意図的な捏造であると分かり、彼は研究所を解雇される。現在は、故郷のドイツで中小会社の社員として働いているという友人の伝聞で、シェーンの研究生活の記述は終わる。

この本を読んだ当時、30代にもかかわらず、将来の生活設計が全く描けず不安と絶望の中にいた私は、ポスドクという不安定な身分で、周囲の期待に沿う論文を捏造してしまったシェーンに少し同情した。それと同時に、学問に対し不誠実な態度で臨めば、結局のところ、学問によって痛烈なしっぺ返しを食らうということを改めて認識した。この本は、シェーンを反面教師として、学問に従事する際の科学倫理の大切さを私たちに教えるのである。





## コミュニケーション情報学科 田淵義英先生のおすすめの本

### 歴史とは何か

E.H.カー著 岩波書店

学生におすすめする本を紹介して欲しい、という依頼を受けました。おすすめしたい本はたくさんあって悩んだのですが、E・H・カーの『歴史とは何か』をおすすめすることにしたいと思います。

著者のE・H・カー (Edward Hallett Carr) は、20世紀を通して活躍した外交官であり、国際政治の研究者であり、歴史家でありました。また、少なくとも彼の思想の広がりや深さは、哲学者と呼ばれることにも耐え得るものだと思います。

よく、カーは三つの顔を持っていると言われます。ケンブリッジを卒業してからの20年間、彼はイギリス外務省に勤務する外交官でした。その後、国際政治の研究者として活躍し、第二次世界大戦勃発直後に、あたかもそれを予見していたかのように出版された『危機の二十年』は、いまだに国際政治を学ぶ者の必携書です。ケンブリッジ大学の研究員になってからのカーは専ら歴史学に専念し、ロシア革命史の研究に没頭します。そのため、国際政治を学ぶ者は歴史家としてのカーを知らず、歴史学を学ぶ者は国際政治学者のカーを知って驚くのです。

私自身は、初めに歴史家としてのカーと出会いました。高校生の頃です。当時、鳴り物入りで導入され、アツと言う間に姿を消した「総合学習」という時間がありましたが、この時間に歴史の先生が開講して下さったのが、カーの『歴史とは何か』を通読するという講義だったのです。当時の私には明らかに難しすぎる本でしたが、私なりに背伸びして頑張りました。(余談ですが、読書にはこうした背伸びがとても大事です。「読んだらすぐに理解できる本」ではなくて、「頑張っても少ししか分からない本」が、あなたにちょうど良い本です。) 当時はもちろん、今でも私がこの書物について「理解した」と言える部分はわずかしかなかったと思います。それでも、おそらくこの本と出会わなければ、私はその後大学院に進学し、今こうして曲がりなりにも教鞭きょうべんをとるなどということにはならなかっただろうと思います。それほど、この本との出会いは衝撃的でした。

その後、私は大学で歴史学を学び、修士課程では国際政治を専攻しました。そこで私は、今度は国際政治学者としてのカーに再会したのです。歴史家としてのカーと国際政治学者としてのカーの顔は著しく異なっているように思われ、両者を整合的／総合的に捉えるという作業は私にとってなかなか大変な経験だったのですが、その話はまたいずれすることにして、ここでは歴史家としてカーについて話したいと思います。

『歴史とは何か』は、どこかの国や社会の歴史について書かれた本ではありません。それは「歴史」という概念そのもの、「歴史を紡ぐ」という我々の営みそのものについて考察された本です。カーはこの本を、「完全な歴史」を書く事は出来るか、という問いから始めています。言い換えれば、絶対的に正しい歴史的な事実を積み重ね、それら全てについて過不足なく記述すれば、人間は「完全な過去」を手に出出来るだろうか、ということです。

結論から述べれば、答えは「否」です。なぜなら、人間はすべての歴史的事実を平等に取り出すことはできず、自分の関心や問題意識にしたがって、都合の良い事実を恣意的に選択して並べているからです。カーは、「事実は語る」という格言は嘘だと明言しています。事実は、私たちが語らせるまでは沈黙したままであり、そしてどの事実語らせるかは、ひとえに私たちの恣意的な選択にかかっていると、カーは言います。

これは極めて重要な指摘です。たとえば戊辰戦争について考えてみると、私たちはそれを鳥羽伏見の戦い、上野戦争、会津戦争、函館戦争など、いくつもの戦闘の集合として理解しています。けれども現実には、名前をつけられることもなく、後世に記録されることもなく、歴史の海原に消えていった小競り合いがたくさんあったはずで、そこで命を落とした人もたくさんいたでしょうし、もしかしたら、私たちが知らないだけで、そこで歴史を揺るがす何かが起こっていたかも知れません。事実は、それ自体では何も語らないのです。

私たちが「完全な歴史」を手に入れられない理由はまだあります。それは、私たちが、私たちの属する時代や社会からしか、物を見ることが出来ないからです。再び戊辰戦争を例に取りましょう。福島県では東北における重要な戦闘のいくつかが戦われました。私たちの住む磐城でも戦闘が繰り広げられています。しかし、なんととっても有名なのは、薩長軍と会津軍が戦った会津戦争でしょう。城下からあがる火の手をみて若松城の落城と勘違いし、飯盛山で若き白虎隊士たちが自刃した話は、現在でも四十七士の討ち入り話と人気を二分しています。さて、この会津戦争の評価を、私たちはどのように決めることが出来るのでしょうか。明治の新時代を築くために必要な戦いであったのか、薩長の権力闘争に利用された戦いであったのか。この質問を、会津出身の人と山口出身の人にしてみれば、歴史の評価というものがいかに難しいものか分かります。私たちは、それぞれの「立場」からしか、歴史を見ることは出来ないのです。

こうした状況を指して、カーは「歴史とは過去と現在との対話である」と言っています。すなわち、現在の私たちが「過去をどのように見るか」が歴史であって、したがってそれは普遍的な歴史の真実を表現しているのではなく、現在に生きる私たちの価値観を表現しているのです。ところで、現在の私たちの価値観は、私たちが将来どのような世界に生きたいか、という未来への意志と密接に結びついています。未来に達成すべき様々な目的が、私たちに過去の問題を検証させようとするのです。そこでカーは、本書の終盤になると彼の歴史の定義を修正し、「歴史とは過去と未来との対話である」と言い直します。

こうしてカーは、歴史を、無味乾燥な「客観的事実の積み重ね」ではなく、人間精神の創造的な営みであると考えます。歴史とは、自然界の法則や経済の原理のような、あらかじめ与えられたルールに私たちがしたがった結果ではありません。歴史とはむしろ、私たちが未来を展望する

ことで現在の改革を求め、そうした既存のルールに立ち向かうときに、過去についての新たな解釈として生じるのだと、カーは述べているのです。

彼の議論は、(いつの時代も重要ですが) とりわけ現在のみなさんにとって重要です。3月11日の震災のあと、日本のエネルギー政策は大きな岐路に立たされました。たくさんの人々が、原発は安全だと言ったり、安全ではないと言ったりしています。そして、そのたびに彼らが引き合いに出すのは「歴史」です。両陣営の主張は真っ向から対立していますが、しかし彼らは、自分たちの主張の根拠として、同じチェルノブイリやスリーマイルを引き合いに出しています。どうしてそんなことが起こるのでしょうか？それは、彼らが争っているのが真実ではなく、解釈だからです。そして歴史とは、常にこの解釈のことであり、それ以上でもそれ以下でもありません。

チェルノブイリやスリーマイルで事故が起こったということは、歴史的な事実です。この点を争う人はいません。しかし、それがどのような原因で起こったのか、現在でも同様のことが起こりうるのか、日本の事故との共通点や相違点はどこか、そして何よりも、チェルノブイリやスリーマイルの失敗は技術的・制度的に乗り越えられているのか、といった点をめぐっては解釈が分かれています。

両陣営のこの違いは、カーの言う「現在と過去との対話」から生じているのです。原発に賛成の人は、過去の様々な出来事のうち、原発の安全性を示すものばかりを見てしまいますし、またすべてを良い方に解釈してしまいます。反対に、原発に反対の人々は、過去の様々な出来事のうち、原発の危険性を示すものばかりを見てしまいますし、またすべてを悪い方に解釈してしまいます。もちろん、ワザとやっているわけではありません。両者の相違は、カーが言うように、両者の未来への展望の相違、一方は原発を今後も重要なエネルギーであるべきだと考え、他方はそれを今後使用すべきではないと考えるという展望の相違から、必然的に生じているのです。

したがって私たちが、両者のどちらが「正しい歴史」なのかと考えてみても(そうすることによっては大切ですが)、それは無意味というものです。なぜなら、どちらの主張も、ある見方によっては正しく、また別の見方によっては間違っているからです。重要なことは、私たちが「自分の見方」を創るということです。自分自身で未来を展望し、それに照らして現在を見つめ、過去を解釈するのです。そのときに初めて、「あなたにとっての歴史」が姿を現すことになるでしょう。カーの著作は、そのことの重要性と、それを実践するためのヒントを私たちに教えてくれるのです。

私は今年福島高専に赴任してきましたが、赴任してまず感じたことは、高専の学生はみな優秀だということです。成績の善し悪しにかかわらず、みな素晴らしい素質と才能に恵まれていると私は思います。しかし、高専の実学に偏重したカリキュラムのためでしょうか、どうもみなさんは歴史に疎いようです。そしてそのことは、言い辛いのですが、みなさんが未来への展望を持っていないということに他なりません。それは、たとえみなさんが真剣に未来について考えていたとしても、そうなのです。歴史を欠いた未来への思考は、最良の場合でも「無いよりはマシ」を超えるものではありません。最悪の場合には「無いほうがマシ」なものにさえなります。

このように例えれば分かりやすいでしょうか。私たちは、自動車を運転するとき、バックミラ



一を見ることなしに前に進むことは出来ません。まともな神経の持ち主ならば、怖くて前に進むことが出来ないからです。あるいは、もし無謀にも進んだとしても、結局は自分と他人を傷つけ、事故を起こすことになるでしょう。

歴史というのは、私たちのバックミラーに映る世界のようなものです。未来に進もうとする人は、必ず振り返らないわけにはいかないのが歴史です。けれども、注意していただきたいのは、歴史を知れば失敗しないのかということ、そんなことはありません。どんなに注意してバックミラーを見ていても、やっぱり事故は起こってしまうのと同じです。しかし、だからといってバックミラーを確認しなくて良いということにもなりません。バックミラーを確認するということは、何かの保証ではなく、自動車で前に進もうとするものの責任です。同様に、歴史を知ることは未来の平和と安泰を保証するものではありません。それはむしろ、未来の災禍を減らし、より善い社会を実現することを望む者の責任なのです。

かく言う私も、そこまで歴史に詳しいのかと聞かれれば、とても十分とは言えません。少なくとも、いやしくも人に物を教える立場の人間としては、甚だ不十分であることを自覚しています。しかし、優秀なみなさんならばこそ、私を基準にする必要はないのです。私の不十分な歴史の知識を超えて、みなさんが、「みなさんの歴史」を獲得されることを切に願っています。





## 一般教科 廣瀬大輔先生 のおすすめの本

### 喜嶋先生の静かな世界

森博嗣著 講談社

森博嗣著「喜嶋先生の静かな世界」を推薦します。この本は工学博士である著者の自伝的小説です。

とある少年が大学に入学して研究者になっていくその過程が主人公の一人称の視点で描かれています。あらかじめ断っておくと、彼独特の論理的・情緒的な言い回しは読者を選ぶことになり

ます。これは単に難しいとか簡単だとかではなく、相性の問題で、合う人合わない人がいますよということです。また、描かれている時代もだいぶ古いものです。だから例えば、大学生活・研究生活を知りたい方への現場紹介として役に立つものでもなさそうです。それでもこの本を推薦するのは、この本には皆さんがこれから研究する際に味わうことになる、閃いた瞬間の全能感や、突き落とされたときの無力感、自分の(もしくは人間の)限界に触れてしまうんじゃないかってときのキリキリとした、ゾクゾクとした、あの何かがよく描かれているように思えたからです。あるいは、僕自身がこの本を読んで、キリキリして、ゾクゾクとして、大好きになってしまったこの興奮を伝えたいだけなのかもしれませんが...

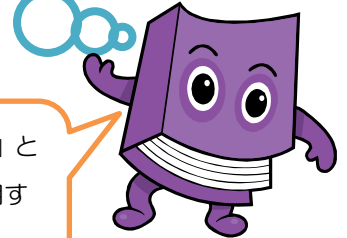
そろそろ終わります。この推薦文を最後まで読んだ方、ありがとうございます。たぶんあなたとこの本は相性が良いのだと思います。気が向いたら一度手にとってばらばらと読んでみてくれたら嬉しいです。オススメです!

ところで、iTunes App Storeでも森博嗣と検索したら電子書籍版を見つけられると思います。購入を決意された方で、然るべき環境を持っている方はこちらの方が書籍よりも安く購入できますよ。

以上6名の先生方におすすめの本をご紹介していただきました。紹介していただいた本は、本校図書館にも随時所蔵していく予定です。

# 便利な図書館アイテム

みなさんは図書館を利用する際に、「こういうことができたらいいなあ」と思うようなことはありませんか？ここでは、もっと便利に図書館を利用することができるアイテムをご紹介します！



かゆい所に手が届く！？

## 福井県立図書館の『覚え違いタイトル集』

緑の中の庭園図書館  
福井県立図書館

〒910-8113 福井市下馬町51-11 TEL.0776-33-8860 開館時間(平日)9:00～19:00(土・日・祝)9:00～18:00

TOP 総合案内 本・資料をさがす 調べる・相談する 行事のご案内 キッズページ

現在地 ホーム > 調べ・相談 > 覚え違いタイトル集

### 覚え違いタイトル集

本のタイトルがよくわからない、うるおぼえ。図書館のカウンターで出会った覚え違いしやすいタイトル、著者名などをリストにしました。  
青字で表示されているタイトルをクリックすると、より詳しい本の情報が見られます。  
覚え違いタイトル集へ掲載する、あなたの出会った覚え違いを募集しています。情報提供メールアドレスから情報をお寄せください。

- [情報提供メールアドレス](#)
- 国立国会図書館カレントアウェアネス・インタビュー記事が掲載されました。
- [福井県立図書館「覚え違いタイトル集」ができるまで「カレントアウェアネス・ポータル」](#)

| 覚え違い？  | こうかも！   |
|--|---|
| <b>new</b> 野球レベルアップシリーズ  | 『野球ステップアップシリーズ 守備編 1(内野手)』関口勝己/著 2012 ベースボールマガジン社                               |
| <b>new</b> 「成功する人は笑って困難を克服する」というようなタイトルの本。読書カウンセラーとかそんな肩書きを持つ清水さんの本。 | 読書ソムリエ「清水克衛」著「幸運の女神を振り向かせる力」(『プロは逆境でも笑う』成功への糸口が見つかる思考法 ② 西田文郎/著 2009 総合法令出版 所収) |
| <b>new</b> さっき、他の人が返却した「源氏物語」を借りたい。有名な作家で、いま2巻まで出ている                 | 『六条御息所源氏が中心』、② 林真理子/著 小学館   |
| <b>new</b> 防衛大学の中谷昇(なかやのぼる)氏の「今だから…(なんとか)…」という本                      | 『誰も書けなかった防衛省の真実』中谷元(なかたに げん・元防衛庁長官)/著 2008 幻冬舎                                  |
| <b>new</b> 金山勝友の「阿彌陀如来」はあるか。   | 花山勝友「阿彌陀如来」(『信ずる心』1 松原泰道/責任編集 1987 集英社 所収)                                      |
| <b>new</b> 橋下徹の「真っ向勝負」   | 『まっとう勝負!』橋下徹/著 2006 小学館   |

読みたい本のタイトルや、著者を忘れてしまったときに便利なHPです。なかなか思い出せないときは、このHPを見てみると、ヒントが見つかるかも！

<http://www.library.pref.fukui.jp/reference/mosika/site.html>

Amazon で見つけた本を図書館で借りられる!?

## Libron

LIBRON  
図書館をもっと身近に

1,544 ツイート 1,848 いいね! 702

こんにちは。おすすめ商品を見るにはサインインしてください。初めてのの方はこちら。  
マイストア Amazonポイント ギフト券 セール・バーゲン情報

検索 和書 村上春樹

2本を検索

つかいかた How to use?  
インストール方法 How to install?

更新履歴  
3.0.2

## Libron (リブロン) とは

Libron は Amazon のページから最寄りの図書館の蔵書を検索・予約できる便利なツールです。

ブラウザにインストールして Amazon にアクセスするだけで、すぐに利用できます。

全国 5900 以上の図書館(1000 館以上の大学図書館を含む)に対応しています。

買おうか、借りようか悩んでいるときなどにおススメのアイテムです。

<http://libron.net/>

# 本が出来るまで。

今年の本屋大賞を受賞した『舟を編む』（三浦しをん著）ですが、この作品はとある出版社の辞書編集部を舞台にし、一冊の辞書を作り上げるまでを物語にしています。作中には辞書を作る際の様々な工夫や苦勞が出てきますが、実際に「本」はどのように作られているのでしょうか？ここでは、作家：福島高専太郎という作家が、新作小説『ピブリアと私』という本を架空の出版社<荒波書店>から出版すると仮定して、どのように本が作られていくか一緒に見てみましょう。

出版社  
<荒波書店>

**企画** （編集者の会議を経て、企画として持ち上がる）

この企画は福島高専先生にお願いしましょう！



作家  
<福島高専太郎>

**依頼** （出版社からの依頼を受け、編集者と意見を煮詰めていく）

私はこういう小説にしたいなぁ



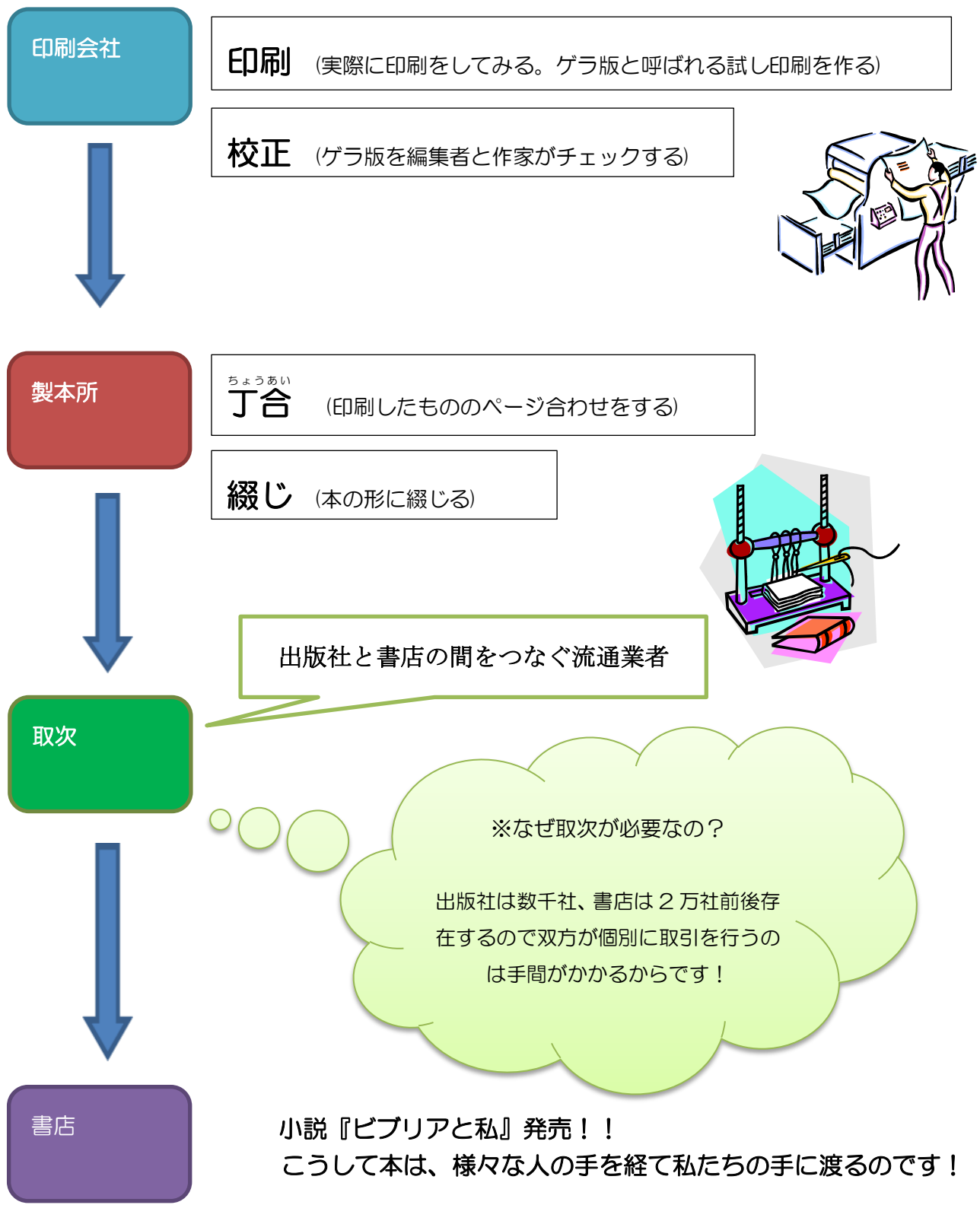
**原稿執筆** （実際に原稿を執筆する。編集者は資料集めなど、サポートをする）

出版社  
<荒波書店>

**割り付け** （本のレイアウトを決める）

**構成** （ここで紙や表紙など、本の仕様を決める）





参考文献 : 川上隆志 編集者 千倉書房 2006





おおまかな本作りの流れはつかめたでしょうか？次は、数々の書籍のデザインについて第一線で関わってきた本校教員の内山昭代先生に、本作りに関して色々なことをお伺いしました。

**Q.** 私たちが一冊の「本」を手にするまで、実に多くの過程を踏まれていると思いますが、先生のような装丁やデザインを手掛ける方はどの段階から制作に携わられているのでしょうか？

**A.** 2つの制作方法があります。一つは出版編集企画の段階から参加します。編集企画内容に合うビジュアルイメージをその段階から想像して、商品としての本を創作していきます。編集内容とターゲット（読者層）に合わせた判型、ページ数、本文用紙を暫定的に決定し、この段階で製本屋さんに東見本を発注して、出来上がりの本のイメージを編集者、デザイナーとで共有します。この段階で、編集者は原稿依頼、写真撮影依頼、イラストレーション依頼等の作業に入ります。写真、イラストに関しては、デザイナーのイメージも伝えるため、デザイナーも直接写真家やイラストレーターに直接合って、レイアウトを見せたり、写真やイラストのイメージを伝えることが多々あります。

デザイン作業では、扉、目次、本文組のフォントの種類とポイント数、1頁の文字数、ノンブル（ページ）、柱（章のタイトル）のデザイン等のイメージを決めてから、編集作業に入る場合が多く、デザインを先行させる必要があるからです。特にイメージ性の強い写真集や美術本の場合は、ビジュアル先行のデザインレイアウトを進め、文章はレイアウトに合わせて原稿を書く場合もあります。本文デザインでは、写真や図版、イラストのトリミング、印刷指定、色校正も行います。表紙デザインは最後の仕上げの行程なので、表紙のデザイン、見返し用紙の選定、帯のデザインと紙の選定、印刷指定、色校正の仕事があります。また豪華本に関してはブックケースをデザインすることもあります。この場合はケースの素材選定、ケースのデザイン、印刷指定、印刷校正まで行います。

ということで、企画から仕上がりまでの全工程にデザイン制作に携わる事になります。『赤毛のアンのカントリーノート』は企画から発行まで11か月、『ムーミン谷への旅』は9か月を費やしました。

もう一つの制作方法は、本文編集制作を全て編集者側で行い、“表紙回り”と言われる見返し、表紙、ジャケット、帯のデザインだけをデザイナーに依頼する方法です。場合によっては扉のデザインを加えるケースもあります。私もこの制作方法で手がけた作品が多々あります。

Q. 本のデザインのお仕事とは、実際にどのようなことをするのでしょうか？

A.

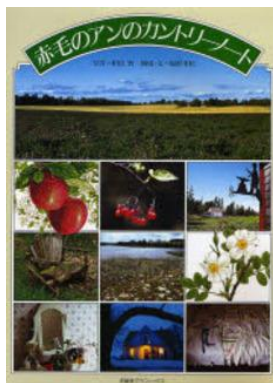
1. 本の形態の提案／判型—サイズ（B4・A4・B5・A5・B6・文庫・新書）
2. 製本形態の提案／丸背・角背・上製本・並製
3. 表紙デザイン／ジャケット・帯デザイン、用紙選定、印刷指定、色校正
4. 見返し用紙選定、花切れ選定、スピン選定
5. 扉デザイン（章扉も含む）、用紙選定
6. 目次デザイン、フォント選定、用紙選定
7. 本文フォーマット（本文組、ノンブル、柱）、フォント選定、用紙選定
8. 本文図版（表・グラフ・写真・イラスト）レイアウト
9. 奥付レイアウト
10. 本文印刷指定、色校正

以上の工程をブックデザインとして捉えて仕事をしてきました。明治時代の洋本では、「装丁、装釘、装幀」（そうてい）と呼ばれました。現代では装幀の字が一般的に使用されています。明治、大正、昭和にかけての小説家、夏目漱石、芥川龍之介などは、装幀にこだわりを持っていて、『我が輩は猫である』や『羅生門』等多くの本を自装本といって自分で本のデザインした事でも有名です。恩地孝四郎という人も装幀に関わる本『装本の業』を出版しています。内容を読んでも装幀の仕事の関わり方に多くのページを費やし、どのような美意識と心がけを持って仕事をするかが書かれています。

私も今でも、現代の装幀家やブックデザイナー達の仕事に関心を持ち、どのような仕事をこなしているのか、優れたブックデザインや本に関わる人達との交流、過去には、製本芸術家協会のメンバー達と、海外の図書館の稀覯本（珍しくて美しく、貴重な図書）を見学する旅行を計画し、アメリカ、ドイツ、北欧、イギリス等に旅行して本を見てきました。

高専の在職中は、卒業研究生の中で本の制作を希望する学生達、ミニ研究生達には、和装本や洋装本の作り方の指導もしました。今も絵本制作への興味と意欲を持って少しずつですが制作を行っています。

**Q.** 先生がデザインされた『赤毛のアンのカントリーノート』や『ムーミン谷への旅』を読んでいると、自然とお話の世界に入り込めるような雰囲気をもともとが作り出していると感じます。このような本を作る際に、先生が留意している点やこだわりなどがあればお聞かせください。



**A.** 編集企画の段階で、オリジナル本を十分に読み込んで、本の内容とイメージを把握し、自分なりに感動した場面や、イメージが膨らんだ場面のビジュアルイメージ、出来上がりの本のイメージ、目次のレイアウトイメージ、各章の扉のイメージ、写真のレイアウトと文章のデザイン、イラストと文章のデザインをスケッチして、書き貯めておきます。また、資料の写真やイラスト、原作者の情報として、他の著作にも時間がある限り目を通します。また、他社の同種の出版物も、できる限り収集してチェックしておきます。さらに色彩のイメージなどもカラーチップを選び出して、いくつかの候補色を並べておきます。

『赤毛のアンのカントリーノート』や『ムーミン谷への旅』の本については、オリジナル本の『赤毛のアン』や『ムーミン谷』シリーズの持つ味わいを、失わないように、読者が心地よく共感をもって読めるよう、デザインや色彩計画に統一感を持たせる事や、視覚的に読者を無理なく誘導するシンボル要素や、色彩配列を工夫しました。デザインを主張し過ぎて本来のオリジナル性を壊してしまう事のないよう配慮することを最も大切に心がけました。

また、良い本に仕上げるために、実際に出来上がった本のページ数の2~3倍近いデザインのレイアウトをしたり、表紙のデザインのアイディアを5案以上提出したり、色校正では色指定と校正刷りで出てきた色彩が違い、本来の色に近づける為に、印刷屋さんと何回もやり取りをした、という目に見えない苦労も数多く経験しました。

内山先生、ありがとうございました！

## 図書館アルバイト生の紹介

本校図書館には、学生の皆さんがレポートや課題の相談ができる学習サポーターがいます。学生サポーターは本科4年生以上の学生です。学生サポーターの活動時間は、平日 17:15 から 20:00 まで、土曜および休日開館日は 9:00 から 16:00 までとなっています。レポートや課題がわからないときは、学習サポーターに相談してみてもいいでしょうか。今回は学習サポーターとして活躍している図書館アルバイト生の4名を紹介します！

### 物質環境システム工学専攻 2年 吉田圭祐さん

図書館アルバイトの吉田です。物質工学科出身なので、主に化学が得意です。部活は5年間卓球をやっていました。本を探したいときや、何かわからないことがあるときなど、気軽に声をかけていただけたらと思います。今年1年、よろしくお願いします。

### 物質工学科5年 鈴木美尋さん

図書館アルバイト2年目の物質工学科5年の鈴木美尋（みのり）です。比較的得意な科目は数学と物理です。座っているとすぐに眠くなってしまいますので、図書館内のこと・勉強でわからないことがあった時には、声をかけてください。

### 物質工学科5年 小浦方優美さん

図書館アルバイトの小浦方優美です。データをまとめたり、観察することが好きなので、実験が得意です。みなさんが利用する図書館がさらに身近に感じられるよう貢献できれば、と思います。1年間よろしくお願いします。

### 機械工学科5年 吉田周平さん

みなさんこんにちは。機械工学科5年の吉田周平です。私の得意科目は数学、物理、英語です。部活動は水泳部で短距離自由形の選手をしています。学校の勉強で悩むことがあれば、相談にのりますので、どうぞ声をかけてください。みなさんのレベルに合わせた本なども紹介します。1年間よろしくお願いします。



# 空想科学図書館通信

## はじめました

YAMASHITA RIKAO 柳田理科雄  
発行：メディアファクトリー 空想科学研究所  
第224号 (2012年5月28日号)

### 空想科学 図書館通信

「コンボルト」では巨大なミキサー車で日本海を埋め立てていざよひを大丈夫ですか？

「今日この頃」

「空想科学読本」

「空想科学読本」は、マンガやアニメの中で起こる奇妙なことや不思議なことを、つくり有り得ないことを真剣に考える本。「アンパンマンの顔はどうして丸く焼けるのか？」や「フランダースの犬の悲しすぎる最終回を避ける方法は？」といった疑問を真剣に考えています。この『空想科学読本』の著者である柳田理科雄氏が全国の高校生向けに毎週発行しているのが『空想科学図書館通信』です。本校図書館でも5月から購読を開始しました。拡大印刷したものを図書館棟入口の左手側にある掲示板に貼っています。毎週、おもしろネタが配信されてきますので、ぜひご覧になってください。

また、月に2度発行される『空想法律図書館通信』も『空想科学図書館通信』と一緒に掲示してあります。こちらもおもしろいのでぜひ読んでみてください！

〈空想科学図書館通信〉

MORITA EIICHI 森田栄一  
発行：メディアファクトリー 空想法律研究所  
第27号 (2012年5月28日号)

### 空想法律 図書館通信

「今日この頃」

「空想法律読本」

「空想法律読本」は、マンガやアニメの中で起こる奇妙なことや不思議なことを、つくり有り得ないことを真剣に考える本。「アンパンマンの顔はどうして丸く焼けるのか？」や「フランダースの犬の悲しすぎる最終回を避ける方法は？」といった疑問を真剣に考えています。この『空想法律読本』の著者である森田栄一氏が全国の高校生向けに毎週発行しているのが『空想法律図書館通信』です。本校図書館でも5月から購読を開始しました。拡大印刷したものを図書館棟入口の左手側にある掲示板に貼っています。毎週、おもしろネタが配信されてきますので、ぜひご覧になってください。

また、月に2度発行される『空想科学図書館通信』も『空想法律図書館通信』と一緒に掲示してあります。こちらもおもしろいのでぜひ読んでみてください！

〈空想法律図書館通信〉

『空想科学読本』。それはマンガやアニメの中で起こる奇妙なことや不思議なこと（つまり有り得ないこと）を真剣に考える本。「アンパンマンの顔はどうして丸く焼けるのか？」や「フランダースの犬の悲しすぎる最終回を避ける方法は？」といった疑問を真剣に考えています。この『空想科学読本』の著者である柳田理科雄氏が全国の高校生向けに毎週発行しているのが『空想科学図書館通信』です。本校図書館でも5月から購読を開始しました。拡大印刷したものを図書館棟入口の左手側にある掲示板に貼っています。毎週、おもしろネタが配信されてきますので、ぜひご覧になってください。

また、月に2度発行される『空想法律図書館通信』も『空想科学図書館通信』と一緒に掲示してあります。こちらもおもしろいのでぜひ読んでみてください！



# 図書館なんでもランキング



今回の図書館なんでもランキングは、その雑誌の最新号が1日に読まれた頻度をみる[雑誌編]と、貸出されたすべての資料のランキング[全体編]と、貸出された小説のランキング[小説編]の3本立てでご紹介します。

[雑誌編] 集計期間 2012年4月1日~6月16日



雑誌は、1日に何度読まれても1回とカウントします。今回の1位は学生のみなさんの役に立つグルメやイベント情報満載の「タウンマガジン IWAKI」でした。2位のホビージャパンはプラモデルやフィギュアの専門誌で、前回の9位（ビブリア 111号参照）から大きく順位をあげました。3位の SCREEN は、洋画をメインに扱う映画雑誌です。4位以下は、次のようになっています。

| 順位 | 回数  | 誌名         |
|----|-----|------------|
| 1位 | 29回 | IWAKI      |
| 2位 | 22回 | ホビージャパン    |
| 3位 | 20回 | SCREEN     |
| 4位 | 15回 | オレンジページ    |
|    |     | サッカーマガジン   |
| 6位 | 14回 | Number     |
|    |     | CD&DLでーた   |
| 8位 | 12回 | モーターサイクリスト |
| 9位 | 10回 | ダ・ヴィンチ     |
|    |     | テニスマガジン    |



[全体編] 集計期間 2012年4月1日~6月11日

| 順位 | 貸出回数 | 登録番号     | 書誌情報                               | 編著者                           | 出版社                         |
|----|------|----------|------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1位 | 12回  | 09-230 他 | TOEICテスト新公式問題集; Vol. 4             | Educational Testing Service 著 | 国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会 |
| 2位 | 10回  | 08-337 他 | TOEICテスト新公式問題集; Vol. 3             | Educational Testing Service 著 | 国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会 |
| 3位 | 9回   | 07-284 他 | TOEICテスト新公式問題集; Vol. 2             | Educational Testing Service 著 | 国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会 |
| 3位 | 9回   | 10-910 他 | 工業英語ハンドブック: 工業英検基礎例文・単語集           |                               | 日本工業英語協会                    |
| 5位 | 8回   | 10-902 他 | 文部科学省後援工業英検4級問題集: 過去試験問題収録         |                               | 日本工業英語協会                    |
| 6位 | 7回   | 10-906 他 | 文部科学省後援工業英検3級問題集: 過去試験問題収録         |                               | 日本工業英語協会                    |
| 7位 | 6回   | 10-942 他 | 面接の達人: パイブル版 2012                  | 中谷彰宏 著                        | ダイヤモンド社                     |
| 7位 | 6回   | 07-270 他 | 文部科学省後援工業英検4級問題集: 過去試験問題収録         |                               | 日本工業英語協会                    |
| 9位 | 5回   | 10-001 他 | TOEICテスト新公式問題集; Vol. 1             | Educational Testing Service 著 | 国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会 |
| 9位 | 5回   | 083329   | ベクトル・行列・行列式徹底演習                    | 林義実 著                         | 森北出版                        |
| 9位 | 5回   | 06-268 他 | 就職活動みるみるよくなる面接パワーアップ塾; 2010年度版     | 岡茂信 編著                        | 実務教育出版                      |
| 9位 | 5回   | 08-327 他 | 大学編入試験問題数学/徹底演習: 微分積分・線形代数・応用数学・確率 | 林義実, 山田敏清 共著                  | 森北出版                        |
| 9位 | 5回   | 070909   | ステップングモータの使い方                      | 百目鬼英雄 著                       | 工業調査会                       |

[小説編] 集計期間 2012年4月1日~6月11日

| 順位 | 貸出回数 | 登録番号   | 書誌情報                       | 著者         | 出版社           |
|----|------|--------|----------------------------|------------|---------------|
| 1位 | 4回   | 083511 | 図書館戦争                      | 有川浩 著      | メディアワークス      |
| 1位 | 4回   | 085752 | ジェノサイド                     | 高野和明 著     | 角川書店          |
| 3位 | 3回   | 083381 | 植物図鑑                       | 有川浩 著      | 角川書店          |
| 3位 | 3回   | 12-005 | ビブリア古書堂の事件手帖; 菓子さんと奇妙な客人たち | 三上延 著      | アスキー・メディアワークス |
| 3位 | 3回   | 035067 | 不思議の国のアリス                  | ルイス・キャロル 著 | 角川書店          |
| 3位 | 3回   | 084820 | ラブ・ケミストリー                  | 喜多喜久 著     | 宝島社           |
| 7位 | 2回   | 083463 | 獣の奏者 4: 完結編                | 上橋菜穂子 著    | 講談社           |
| 7位 | 2回   | 11-476 | 夜は短し歩けよ乙女                  | 森見登美彦 著    | 角川書店          |
| 7位 | 2回   | 083761 | 夜行観覧車                      | 湊かなえ 著     | 双葉社           |
| 7位 | 2回   | 083756 | 往復書簡                       | 湊かなえ 著     | 幻冬舎           |
| 7位 | 2回   | 084834 | ユリゴコロ                      | 沼田まほかる 著   | 双葉社           |
| 7位 | 2回   | 11-722 | 探偵はバーにいる                   | 東直己 著      | 早川書房          |
| 7位 | 2回   | 80-146 | みずうみ                       | シュトルム 著    | 新潮社           |
| 7位 | 2回   | 085816 | ピエタ                        | 大島真寿美 著    | ポプラ社          |

全体のランキングでは、TOEIC や工業英検の本が人気で、多くの貸出がありました。また、就活やそれに関連した面接対策の本も今回ランクインしていないものも含めて人気なようです。小説のランキングでは、有川浩や湊かなえなど、女性の人気作家の本がランクインしています。また、4月に発表された本屋大賞の影響で、惜しくも大賞は受賞しませんでした。本屋大賞にノミネートされていた、『ジェノサイド』や『ビブリア古書堂の事件手帖』、『ユリゴコロ』、『ピエタ』などが多く貸出されています。みなさんの読書欲を刺激するような本が本校図書館にはあると思いますので、是非図書館まで足を運んでみてくださいね。

## ～Library Information～

### \*新しい図書館スタッフの紹介\*

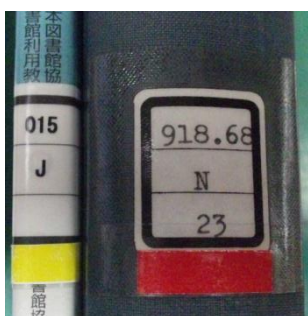
平日は夜間に、土曜日は日中勤務している石澤順子です。気持ち良く利用していただけるよう、日々図書の整理・整頓に励み、カウンター業務は笑顔でと心がけています。どうぞよろしくお願ひします。

### <再読のススメ>

初めての本を手にとると未知のストーリー展開にワクワクします。でも、時には「再読」もいいものです。10年後、20年後に読み返してみると、同じ小説でも自分の年齢に近い登場人物に感情移入して読み進めたり、同人物に対する評価も違っていたり、そこで自分自身の変化に気付くこともあります。時を経てより深く多面的に作品を味わえると思います。

### \*館内の本の位置をわかりやすくしました\*

一昨年行った図書館に関するアンケートで、「1階と2階の本がわかりにくい」との意見がありました。そこで、背ラベルの下のところに所蔵場所別にシールを貼り、どの場所にある本か一目でわかるようになりました！



黄色のラベル→2階の閲覧室の本です

赤色のラベル→1階の移動書架にある本です



緑色のラベル→資格進路コーナーの本です

桃色のラベル→シラバスコーナーの本です

### \*佐藤忠良氏の本の展示を行いました\*

NHK教育テレビ「日曜美術館」の佐藤忠良氏特集で本校にある母子像が紹介されました。そこで、5月の中旬から下旬にかけて図書館に所蔵してある佐藤忠良氏の画集や素描集の展示を行いました。中にはサイン入りの画集もあります！6月中は、6月18日までいわき市立美術館で開催されていた宮沢賢治の展覧会に伴い、宮沢賢治の特集をしています。今後もこういった展示を不定期に行っていく予定です。図書館にお立ち寄りの際は、是非ご覧になってみてくださいね。



こちらが宮沢賢治特集の様子です！

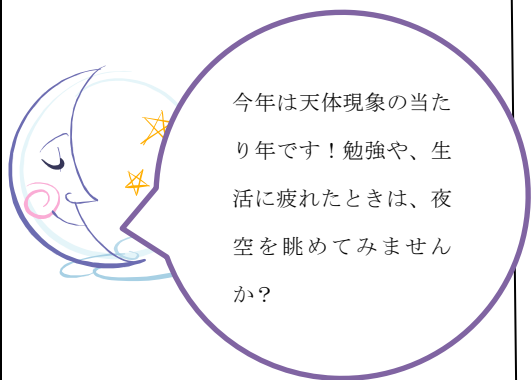
福島高専図書館報 No.112

編集 福島工業高等専門学校  
図書館運営委員会

電話 0246 (46) 0959

FAX 0246 (46) 0728

Email: tosyo@fukushima-nct.ac.jp



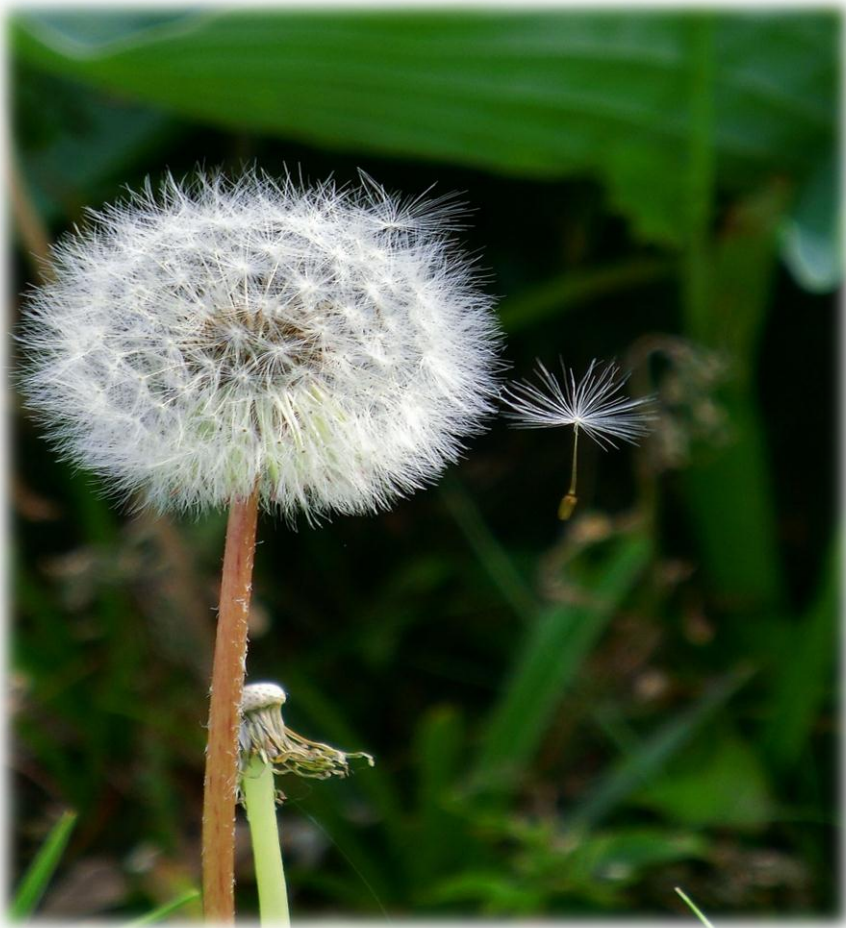
### 編集後記

▪ 何事においても「情熱」。まずはそこから始まるのだと思う。野村克也（元監督）は、極貧生活から抜け出すためにプロ野球界に入ったが、南海入団 1 年目でクビを宣告された。彼は、飛び抜けた才能がない自分がプロ野球界でトップになるにはどうしたら良いか常に模索し、野村 1D 野球を生み出した。

松下幸之助は、若い頃病を患いこのままでは会社勤めがままならなくなるとギリギリに追い込まれた状況で独立を決心し、今日のパナソニック（旧社名：松下電器）を築いた。

どんなに追い込まれても「情熱」があれば道を拓くことができる。先人達の声からそんなことを思う今日この頃です。 (K)

・ 6 月は金環日食や金星の太陽面通過があり、空を見上げる機会が多く、遠い宇宙の果てに想いを馳せる機会が多かったように思います。宇宙には、直径が太陽の 17 倍もあるブラックホールがあるそうです。そんな何万光年先にあるブラックホールのことを考えると、自分の単純な悩みが吹きとぶような気がします。また、単に夜空を見上げ星を見ているだけでもきっとリラックスできますよ。ということで、今イチオシのリラックス法は“空を見上げる”です！ (S)



触れる手で  
何か伝える  
その刹那